

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和幸
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3326
事務事業名	4089 高齢者在宅福祉事業											
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課											
施 策	11020400 高齢者福祉の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費										
	事業	030000 高齢者在宅福祉事業										
事業目的						事業概要・効果						
ひとり暮らし・寝たきり・認知症高齢者に対して、在宅での生活支援と介護世帯の経済的負担の軽減を図る。						重度要介護認定者を対象に、新型コロナウイルスワクチン接種に係るタクシー利用乗車券を給付する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業の実施した。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施した。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業の実施。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。 ・おむつ購入利用券、理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	高齢者の外出支援・移動サービスの事業者数						
算式						単位	事業者
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	1	1	2	2		
	実績						
指標選定の理由	高齢者の在宅生活を支援する事業である「須崎市高齢者いきいきプラン」(令和3年度～令和5年度)で高齢者福祉施策の指標として目標値を設定したが、令和6年度以降については現状にあわせて目標値を設定した。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		25,111	39,986
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	128	858
	地方債	0	0
	その他	0	10,000
一般財源		24,983	29,128
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,787.2	2,787.2
	嘱託職員	314.9	314.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,102.1	3,102.1
市民一人当たりの経費		0.5	0.8
総額		28,213.1	43,088.1

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	20,104	在宅福祉介護者慰労金20,104
10節 需用費	40	消耗品費40
12節 委託費	1,075	助け合い推進事業関連事業委託料992、ひとり暮らし安心コール事業委託料等83
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	600	宅老所緊急宿泊支援事業補助金32、高齢者にやさしい住宅改良促進補助金477、介護保険社福軽減補助金等91
その他	3,292	扶助費3,292 等

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	22,000	在宅福祉介護者慰労金22,000
10節 需用費	103	消耗品費103
12節 委託費	2,007	助け合い推進事業関連事業委託料1,784、ひとり暮らし安心コール事業委託料223
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,599	宅老所緊急宿泊支援事業補助金100、高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金等1,260、介護保険社会福祉法人軽減事業補助金等239
その他	14,277	扶助費14,277 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活が送れるよう必要な支援を行う事業を実施している。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉介護者慰労金の給付、ひとり暮らし安心コール、在宅福祉利用券給付事業を行い、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるよう支援した。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 住宅改良事業について県補助金を活用している。 在宅福祉介護者慰労金については、理事者と協議し、現在の制度を継続することになった。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- 在宅福祉介護者慰労金については、介護保険事業（地域支援事業）の対象とならないため、一般財源での負担となっているため、理事者と協議し、現在の制度を継続することとなった。
- おむつ購入利用券事業についても、一部の対象者は、介護保険事業（地域支援事業）の対象とならないため、同様に理事者と協議し、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の方を対象から外した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
高齢者の安心した生活継続と、家庭介護の負担軽減のための必要性の高い事業である。おむつ購入利用券事業の対象者の見直しを実施した。		在宅で介護を受けている高齢者と介護者が安心して生活しやすい事業を継続して行う。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	